人間関係構築の能力は

滋賀県びわ湖・近江路

新しい〝ほんもの体験〟のフィールド
びわ湖・近江路の真心ふれあい体験

昨年4月、琵琶湖を取り巻く湖北から湖東にかけた地域に、新しい〝ほんもの体験〟のフィールド「びわ湖・近江路観光圏」が発足しました。圏域は、琵琶湖と近江盆地、それを取り巻く伊吹・鈴鹿山系に囲まれた地域で、豊かな自然と農村風景が広がります。また、古代から京阪神、中京、北陸の結節点として栄え、多くの戦国ドラマの舞台となった地域であり、多くの文化が花開いた地域でもあります。

山の麓では林業が、農村部では農業が、琵琶湖のほとりでは漁業が、それぞれに長い歴史を持つ生業として息づいています。また、「売り手よし 買い手よし 世間よし」の「三方よし」の理念をもって富を成した近江商人発祥の地でもある当地域には、旅人を心からお迎えする「おもてなし」の気持ちが人々の心に根づいています。

びわ湖・近江路では、農林漁業の生業とともに、人々の暮らしの中で培われてきた自然や歴史・文化、地域行事、匠の技などが実に豊富にあり、これらを生かした体験プログラムを整備し、体験型教育旅行の受け入れを行っています。

環境学習として沖合での漁業体験

恵まれたアクセス環境

圏域は、京阪神からのアクセスに非常に恵まれています。とりわけ、京都駅からわずか1時間半程度あれば、名神高速、新名神高速を利用して圏域のどの地域へもバスで入ることができます。京都市内の班別行動を終えてからのバスや電車での移動も、容易な地域にあります。

◆民泊・農村生活体験

農山漁村（ふるさと）の魅力は、なんと言っても人と人とのかかわりの中で成り立っていることです。同じ空間で日々の暮らしを営み、同じ悩み を抱え、互いに助け合っているのが〝ふるさと〟なのです。

時には、水田で泥だらけになりながら田植えや除草作業を行い、時には野菜ハウスで汗にまみれての野菜の収穫や出荷作業。夕飯は屋敷畑で自らの大きな特徴です。

民泊での食事風景

さまざまな農村生活体験

商店街就労体験

収穫したものを調理し、食し、風呂に入り、布団を敷き、暗闇の中に輝く星空を眺めてから寝る。そうした体験の中から、ふるさとや人々の誇り、人と自然、人と人とのかかわりを学ぶことができます。次代を担う青少年にとって、かけがえのない驚きと感動の交流が生まれるはずです。

日野エリアで100軒、東近江エリアで80軒320人、米原エリアで80軒320人の受け入れを目指しています。

◆びわ湖環境学習

日本最大の湖、近畿の水がめ、びわ湖は、貴重な環境学習のフィールドです。環境学習のうち、ドラゴンカヌーでは、びわ湖に直に接しながら力を合わせることの大変さや喜びを学び、漁業体験では、漁師をインストラクターに迎え、漁の説明や沖合での漁業を体験します。また、湖畔釣りでは、湖畔に暮らす人々から、釣りを通して水辺の暮らしやびわ湖の歴史、環境について学びます。

間伐の必要性を学ぶ森林間伐体験

◆森林間伐体験

自然とのかかわりが密接であった一昔前、山は生活物資調達の場でした。しかし、化石燃料に頼る時代となり、奥山だけでなく、里山でさえ人の手が及ばなくなり、植林された林は昼間でも薄暗く、獣道が縦横無尽に走り、至るところで表土の流出が目立ちます。これらの森林に分け入り、森林間伐の体験を通して、森林の果たす水源かん養、健全な木の生育促進、地球温暖化防止、豊かな森づくりなど、間伐の必要性を学んでいただきます。

びわ湖・近江路観光圏
近江屋ツアーセンター
〒526―0059　滋賀県長浜市元浜町14―12
湖北観光情報センター四居家内
TEL　0749―65―0370　FAX　0749―65―0380

広島湾ベイエリア

温暖な気候に恵まれた広島湾の自然を体験

広島湾域は、多島美で知られる瀬戸内海の西に位置し、厳島神社（宮島）と原爆ドームという2つの世界遺産を有する地域です。湾域の中心部は、中国地方をリードする産業、経済の中心都市の広島市がありますが、少し足を延ばすと湾域全体にわたり豊かな自然に恵まれています。海はもとより、山、里、川とのかかわりが深く、そこに暮らす人々は、穏やかで美しい瀬戸内海の温暖な気候の中で、地域色豊かな生活文化を育んできました。

広島・山口両県の7市3町（広島市、呉市、江田島市、廿日市市、大竹市、岩国市、柳井市、坂町、和木町、周防大島町）の自治体や経済団体などで構成する「広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会」では、こうした地域の自然や生活文化を生かした体験プログラムを整備し、体験型修学旅行の受け入れを行っています。

世界遺産に登録されている広島の原爆ドーム

当地域には、厳島神社（宮島）と原爆ドームという2つの世界遺産に加え、呉市の「大和ミュージアム」、江田島市の「海上自衛隊第1術科学校」など、日本を代表する歴史・文化遺産を有しており、世界平和への取り組みはもとより、日本の伝統や歴史文化を体験学習できます。

穏やかな風波、潮流、適切な水温に恵まれた広島湾では、カキ養殖をはじめ、底引き網漁、吾智網漁、刺し網漁といった漁法で、アジ、メバル、黒鯛、タチウオなどの漁業が盛んです。また、広島湾域の温暖な気候は「みかん」をはじめとした野菜、柑橘類の栽培にも適しており、他の地域にはない自然環境の中で、農林漁業をのびのびと体験することができます。なかでも、島しょ部に暮らす人々との民泊体験では、心の交流を深め、子供たち1人ひとりの大切な思い出として刻まれます。

広島湾各地から

【倉橋島】

呉市南方の瀬戸内海に浮かぶ倉橋島では、瀬戸内海のカレイやシタビラメといった底もののおいしい魚を狙い、網を揚げる底引き網漁、獲れた魚を使ったバーベキュー、その他、アジの開きづくり指導や、漁村生活を語らう交流体験など、「楽しく学ぶ」をモットーに子供たちをお迎えしております。

倉橋島の底引き網漁体験

地引き網・みかん収穫体験

（周防大島）

【周防大島】

周防大島は、山口県東南部に位置し、瀬戸内海に浮かぶ島では3番目の広さを誇り、年間平均気温15・5度と温暖な、青く澄みわたる瀬戸内の海と四季の彩り豊かな美しい自然からは、漁業、農業はもとよりスポーツ、レジャーが盛んな町です。この島の修学旅行は、民宿を通じて、日々自然と向きあって生きている島人が農業・漁業などの家業（生業）を伝えながら、ふれあい交流を図るというものです。民泊家庭は、現在100軒にのぼり、平成23年には150軒に増やし、450人までの受け入れができる態勢をめざしています。

【平和学習】

広島は、第二次世界大戦中の1945年（昭和20年）8月6日に、世界で初めて原子爆弾が投下され、大きな被害を受けました。原爆ドーム、平和記念資料館、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館、慰霊碑、被爆建物などの見学や被爆体験証言者の話から、原爆の恐ろしさ、非人道性を肌で感じます。

被爆地広島で、「核兵器が人類の破滅をもたらし、人類とは共存しない兵器であること」「戦争が多くの命や愛する家族、友人、財産を奪ってきたこと」「命の大切さ」について学んでください。

宮島シーカヤック

広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会
（広島商工会議所　商工部　観光振興チーム内）
担当　大巳
営業時間　月～金曜日　8：30～17：30（祝日は除く）
〒730―8510 広島市中区基町5―44
TEL　082―222―6651　FAX　082―222―6411
E-mail:Hiroshima@hiroshimacci.or.jp
http://www.hiroshima|marugoto.jp/

長崎・北松浦半島

松浦の島々

人と人が魅かれあう感動体験

「松浦党の里ほんなもん体験」の舞台は九州の西端、長崎県の北部に位置する北松浦半島と周辺の島々。九十九島をはじめ多くの島々や入り江に恵まれ内海は美しく波穏やかな半面、外海は玄海灘の荒々しい趣を併せ持つ地域です。

歴史的にも源平合戦の折に活躍した「松浦党水軍」の史跡や元寇襲来の爪痕が島々の至るところに残っています。

ほんなもん（＝ほんもの）体験は、豊かに残る自然環境や深い歴史が刻まれた場所で展開され、農林漁業などの多様な生業を生かし、徹底した安全管理のもとで提供する教育旅行プログラムです。

■農漁村での民家泊と90種類の体験プログラム

体験プログラムは水産林業、味覚、自然、アウトドア、工芸など90種類。その中でも漁村、農村での「民泊」はありのままの暮らしや自然の営みの中で家族の一員として過ごしただき、人間関係の希薄化やコミュニケーション能力、社会適応能力の低下が叫ばれている現代の中で、人の温かさを感じてもらい豊かな心を育む感動のプログラムです。

また漁村、農村の受入民家軒数が約500軒、1日最大2千人の受け入れができることも「松浦党の里ほんなもん体験」県「長崎」の特徴を生かした漁業体験を中心に農の大きな特徴です。

心に響く感動の農村民泊

地引網漁

和牛農家体験

シーカヤック

■人と人が魅かれあう感動体験

「また必ず来るね、おじいさん」「おばぁちゃん、僕たちが帰ってくるまで元気でいてね」

と涙ながらに別れの言葉を告げ、バスに乗り込みながら名残惜しそうに振り返る修学旅行生。バスの中から我々の姿が見えなくなるまで手を振っている生徒さんを今年も何度も目にしました。

対面式では初めて民泊先の方と出会い、緊張と不安の入り混じった表情の生徒さんですが、1泊2日という短い期間であっても、家族そろっての食事や団らん、澄みきった星空や地平線に落ちる夕日など豊かな自然を満喫しながらの散歩など、民泊先では家族の一員として過ごしていただくことで、本当の家族のようになり家族の絆や優しさを肌で感じ、翌日の離村式では活力に満ちた表情に変わっています。見ず知らずの人と心が通じ合えた感動が大きな自信として生徒さんの表情に現れるのでしょう。

このように人と人が魅かれあい心が響きあうことで相互に生まれた感動は今でも民泊先と修学旅行生をつないでいる絆となっており、現在でも交流を続けている民泊先が多数あります。

■より深い感動を

民泊での感動は、1泊より2泊のほうがやはり家族との交流が長くなりより深く大きなものになるようです。2泊であれば、中1日を自然が豊かに残る北松浦半島で、自然の厳しさや生業の難しさなどを体験していただき、その体験を民泊先に帰った後家族の方に話すことでさらに交流が深まります。

また、修学旅行初日に長崎市内で平和の尊さや悲惨さ、原子力爆弾の恐ろしさなどの平和学習をしていただいた後、民泊をして生徒さんの表情に現れるのでしょう。

フェリーでの別れ

■安全の向上

心と心の交流を深め、豊かな心を育むフィールドとして信頼を高めることができるよう、体験プログラムや民泊の理念、手法、安全衛生に関する定期的な講習会の実施や長崎県の規制緩和に基づく民泊の旅館業許可習得、万一に備えた保険への加入など安全管理の徹底と体験プログラムの質の向上に邁進していきます。

一般社団法人　まつうら党交流公社
〒859―4501長崎県松浦市志佐町浦免1808番地1
TEL　0956―27―9333　FAX　0956―27―9334
E-mail：kouryu-1ban@matsuurato.jp
http://www.honmono-taiken.jp

沖縄県・恩納村

「心の交流」で感動体験！

沖縄のことわざ「いちゃりばちょーでー」これは、沖縄の方言で「出会えば皆兄弟」、本土でいう「袖振り合うも多生の縁」と同じで、どんな出会いもおろそかにせず、身内のように助け合う心を持つという意味です。沖縄体験ニライカナイの指導員1人ひとりが、この沖縄の黄金言葉を胸に生徒の皆さんが来るのを心待ちにしています。1プログラムの体験所要時間は2～3時間の短時間の出会いですが、体験学習が終わり、バスに乗り込む際、別れを惜しむように写真を撮ったり、握手をしたり、涙を流して抱き合ったりする光景がよく見られます。体験を通して、心と心が触れ合い、信頼関係を築けたことにより、いちゃりばちょーでーの精神が伝わったのだと思います。

沖縄体験ニライカナイでは、すべての指導員が生徒1人ひとりとしっかり向き合い、認め合うことを心がけ、「心の交流」にこだわっています。この心の交流こそが、教育効果の高い「感動体験」につながると考えています。

沖縄でしかできない本格体験を通して、心豊かなウチナーンチュ（沖縄人）と触れ合える良い機会になればと思っています。皆さんと兄弟になれる日を楽しみにしております。

エイサーの衣装を身に着け、全員で発表会へ

おすすめプログラム

環境保護や保全活動を学ぶ自然観察

キビ汁を煮詰めて黒糖づくり体験

①サトウキビの収穫から黒糖作り

サトウキビ畑で、農家のおばあさんやおじいさんと指導員がていねいに教えます。農機具を使って収穫したサトウキビは畑でかじったり、搾ってジュースにして飲みます。そして、キビ汁を煮詰めて黒糖が出来上がると、収穫の喜びや物作りの楽しさが味わえます。徐々に上達し、自体験後には沖縄の「カチャーシー」を踊り、達成感や喜びを共感し、思い出に残る心の交流になります。

②本格エイサー

沖縄の旧盆の時期に踊られる伝統的な踊りを、エイサー団体のにぃにぃ（お兄さん）、ねぇねぇ（お姉さん）に基本から教わります。始めはぎこちない生徒も然と笑顔があふれてきます。踊りを覚えた後、エイサーの衣装を身に着け、全員で心を1つにして踊ります。他の体験の生徒の前で、発表会をすることもできます。体を動かし、爽快感を味わい、楽しみながら伝統文化継承の大事さを知ることができます。

③イノー（ちゅら海）自然観察

沖縄本島の中央部西海岸側に位置する恩納村。その岩礁海岸の美しさは本島随一とも言われています。専用シューズに履き替え海岸を歩けば、色鮮やかな熱帯魚やナマコ、ウニ、ヒトデなどたくさんの生き物に出会えるはずです。自然環境の違いや、生物の多様性を知り、環境保護や保全活動の重要性を学びます。

シーカヤックの講習風景

沖縄体験ニライカナイ
〒904―0411 沖縄県国頭郡恩納村恩納5973
恩納村ふれ愛センター内
TEL　098―966―1600　FAX　098―966―1602
E-mail：info@niraikanai.co.jp
http://www.niraikanai.co.jp